

## 株主メモ

事業年度 毎年2月21日から翌年2月20日まで  
定時株主総会 毎年5月開催  
基準日 定時株主総会・期末配当金／毎年2月20日  
中間配当金／毎年8月20日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日  
公告方法 電子公告により行ないます。  
http://www.palemo.co.jp/  
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を  
することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

以前は、旧株式会社鈴丹の株主様の特別口座に関するご照会先は、三菱UFJ  
信託銀行株式会社でしたが、三井住友信託銀行株式会社になりました。

株主名簿管理人 名古屋市中区栄三丁目15番33号  
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
郵便物送付先 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話照会先 ☎ 0120-782-031

## 株主優待

株主の皆様方のご支援に対する感謝の印といたしまして、毎年2月20日現在の株主名簿に記載された300株以上保有の株主の皆様方に対し、下記のとおり株主様ご優待品を進呈いたしております。



300株以上	1,000株未満	1,000円のクオカード
1,000株以上		3,000円相当のカタログギフト

### 愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録



登録年月日 平成20年2月15日

登録番号 C0024

仕事と生活の調和のとれた働き方ができる職場環境づくりに取り組む  
愛知県ファミリー・フレンドリー企業として登録いたしました。

### 上場株式等の配当等に係る10%（所得税7%、住民税3%） 軽減税率の廃止について

2014年1月1日から上場株式等の配当等に係る10%軽減税率（所得税7%、住民税3%）は廃止され、本来の税率である20%（所得税15%、住民税5%）となりました。  
これにより、2014年1月1日から2037年12月31日までは「復興特別所得税」を含め20.315%の源泉徴収税率が適用されます。

### 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記電話照会先までご連絡ください。

### 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。

### 株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

[主な支払調書]

- \*配当金に関する支払調書
  - \*単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書
- マイナンバーの利用範囲には株式の税務関係手続きも含まれます。  
株主様は、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届けください。

# ～Doing it～

皆様の豊かさ・成長・満足の実現のために



第34期 第2四半期報告書  
[2018.2.21.～2018.8.20.]



## 新中期経営計画の着実な遂行により、 永続的安定成長への基盤を構築してまいります。

当社グループは、前期までに「再生」を目的とした前中期経営計画「事業構造改革」において、不採算店舗の閉店を断行し、基幹事業の収益改善、新規ブランドの出店拡大を進めたことにより一定の成果をあげることができました。そして、今期からは増収増益を前提に「成長」を目的とした新中期経営計画を策定、実行することで、新たな挑戦に向けたグループ経営の基盤構築を進めております。

代表取締役社長 **吉田 馨**



正しい経営  
安定成長  
ローコスト経営  
人財経営

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社グループ第34期第2四半期報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

この第34期第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が堅調に推移する中、雇用情勢、所得環境の改善も継続し、景気は緩やかな回復基調で推移する一方で、米中間での貿易摩擦をはじめとする海外経済の不確実性や、地政学的リスクについても払拭しきれない状況が続いており、先行きは不透明な状況が続きました。

当社グループが属する専門店業界におきましては、インバウンド需要の継続などにより堅調な推移となる業種も一部で見られるものの、業界全体では、少子高齢化、人口減少社会を背景にマーケット環境は膠着状態が続いております。また、慢性的な人手不足による人件費の高騰など店舗運営維持コストの上昇に加え、依然として個人消費は力強さを欠くなど、厳しい事業環境が続きました。

こうした中において当社グループにおきましては、今後のグループ全体の成長を目的に、今期を初年度とした3か年の新中期経営計画を策定し、アパレル事業においてはシーズンMD(マーチャンダイジング)の精度向上による品揃え並びに

在庫の最適化を追求するとともに、雑貨事業においては、各業態でのMD再編を進めることで、基幹事業の更なる競争力の向上に取り組んでまいりました。また、今後の成長エンジンの創出として、アパレル事業での新規ブランドと雑貨事業での300円均一雑貨ショップを中心とした出店拡大にも注力してまいりました。

下半期におきましては、上半期諸施策の結果を検証するとともに、基幹事業における収益の向上及び新規出店の拡大並びにEC事業への対応強化にも注力し、引き続きローコスト経営による営業費の削減に努め、今期目標に掲げた増収増益を目指してまいります。

また、当社はホールディングス体制に移行した今後も、企業の社会的使命を重視するとともに、企業統治並びにコンプライアンス体制の強化など、企業の質的向上にも努めてまいります。

なお、中間配当については、予定通り1株につき3円(年間6円の予定)とさせて頂きました。引き続き業績の向上に努め、グループ経営の基盤構築に向けた内部留保とのバランスを考慮しつつ、株主の皆様へ還元できるような増配を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、当社の事業戦略に、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## Q1 当第2四半期連結累計期間の 業績についてお聞かせください

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高118億8百万円、営業利益5億76百万円、経常利益5億89百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益5億27百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間のアパレル事業におきましては、春先の天候不順に始まり、7月の西日本豪雨、そしてその後続いた酷暑といった影響から、春夏ともにプロパー商品の販売が計画通り進まず苦戦傾向となりました。雑貨事業においては、バラエティ雑貨業態やバッグ業態で苦戦する局面も見られましたが、ライフスタイル提案型の「木糸土(モクシド)・Harenohi(ハレノヒ)」が好調に推移するほか、300円均一雑貨の「illusie300(イルーシーサンマルマル)」による新規出店拡大が寄与し、雑貨事業全体としては堅調な推移となりました。このような状況から、全社の既存店売上高前年同期比は97.5%となり、前年の水準を下回る結果となりました。

## Q2 新中期経営計画の進捗と、下半期の 施策についてお聞かせください

今期は新中期経営計画の初年度であり、前期まで続いておりました減収のベクトルに終止符を打ち、再び成長軌道を描くために、「基幹事業の競争力向上」、「成長エンジンの創出」「安定成長に向けた人財戦略」の3つの基本テーマを掲げ、その諸施策に取り組んでおります。

「基幹事業の競争力向上」については、過去3年間の取り組みにより、アパレル、雑貨の両事業で在庫低減が進み、商品鮮度の改善が進行しましたが、アパレル事業では今期立ち上がりの苦戦に伴う店頭在庫を、期中において早期に正常化するための修正力に弱さがみられ、また雑貨事業の特にバラエティ雑貨では、店舗毎の競合環境や来店客層に応じた商品供給の精度にまだまだ課題を残すこととなりました。この反省を踏まえ、下半期につきましてはMDの精度向上と期中での修正力に磨きを掛けるとともに、営業力の強化に努めてまいります。

「成長エンジンの創出」については、アパレル事業の主力ブランド「Ludic Park(ルディックパーク)」、雑貨事業の好調ブランド「illusie300(イルーシーサンマルマル)」を軸に、下半期で30

利益面におきましては、売上総利益率で雑貨事業の基幹事業であるバラエティ雑貨「Siebelet(シーベレット)」の在庫の適正化が進んだことから、連結決算前の(株)パレモ単体との前年比較になりますが、前年同期比0.2%の改善となりました。しかしながら、経費面において常態化している店舗での欠員解消に向け、パートタイマー、アルバイトの時給アップや、既存従業員に対する処遇改善など人件費が高騰しており、経費率で同じく前年同期比0.9%上昇したことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに減益となりました。

店舗の出退店におきましては、新規出店は18店舗となり、閉店については不採算店舗の閉店が大きく減少し前期の31店舗から17店舗となり、当第2四半期末店舗数は470店舗となりました。今期も引き続き新規出店については物件を慎重に精査していることから、予定していた出店店舗数には届いておりませんが出店の精度は高まっており、今後もアパレルの新規ブランド並びに雑貨の好調ブランドを中心に店舗拡大してまいります。

店舗、通期で48店舗の出店を計画しております。下半期におきましても、引き続き「Ludic Park」、「illusie300」を中心に店舗を進めてまいります。アパレル事業の「DAISY MERRY(デイジーメリー)」や雑貨事業の「INCENSE(インセンス)」についてもイメージを刷新して再チャレンジする予定です。また、EC事業については、インフラ整備や外部委託業者との協業体制を整えることができましたので、いよいよこの下半期より本格稼働していく予定です。

「安定成長に向けた人財戦略」については、今後当社が安定的に成長していく上で、人財の確保、育成、活用は重要な課題であると考え、来春に向けた正社員や地域社員の採用活動を進めてまいりました。また、引き続き既存店舗での欠員対策にも注力しており、徐々にではありますが欠員解消に向けその効果が現れております。

以上、第34期におきましては、「事業構造改革計画」の最終目標であり、新中期経営計画の前提でもある増収増益について、新中期経営計画で掲げた3つの基本テーマに沿った諸施策を着実に実行することにより、厳しい環境の中においても競争力を磨き、新たな事業領域にもチャレンジするなど、永続的安定成長に向けた基盤を構築してまいります。

# アパレル事業の概況

General Condition of Apparel Business

アパレル事業におきましては、第34期以降の収益拡大と次代を担う主力ブランド化を図るべく、新規ブランドの出店に注力してまいりました。

当第2四半期連結累計期間においては、客層が広く安定した収益を期待できる「Ludic Park(ルディックパーク)」の出店を強化しました。新規出店で5店舗、既存店舗の活性化に伴うブランド転換を1店舗実施し、認知度向上に努めるとともに、出店後においても客層、ニーズ、品揃えの検証を実施し、個店毎にMDの修正を加え安定成長に向けた柔軟な対応を図ってまいりました。

**ルディックパーク**



**Ludic Park**

遊び心を程よく取り入れた自分らしいファッションを、楽しくセレクトできるショップです。エレガンス・クール・カジュアルまで幅広い客層へ向けた最新トレンドと、着まわしのきくベーシックアイテムをお手頃プライスで提案します。

**リルデシュシュ**



**Lilou de chouchou**

いつまでもかわいく輝いていたい女性に向けて、毎日のHAPPYを演出します。エレガンスをベースに程よくトレンドを織り交ぜながらON&OFFあらゆるシーンも自分らしく楽しめる上品で女性らしいファッションを提案します。

**デイジーメリー**



**DAISY MERRY**

大人の心と少女の心を持ち合わせたいつになってもかわいくオシャレでいたい女性に向けて…かわいだけでなく、どこかボーイッシュ、ほんのりガーリーと、遊び心を取り入れた今欲しいリアルクローズを手頃なプライスで提案します。

**ギャルフィット**



**GAL FIT**

「フェミニン&クール」をテーマに、リラックス感のあるカジュアルスタイルとエッジの効いたモードスタイルを提案します。

**スズタン**



**SUZUTAN**

「エレガンス&フェミニン」をテーマに、幅広い客層へ最新トレンドと着まわしのきくベーシックアイテムを提案します。

**リシェリエ**



**Recherie**

「フェミニン」をキーワードに、ベーシックでリラックス感のある大人のカジュアルスタイルを提案します。

**リジェイ・スプル**



**Re-J**

「デイリー&リラックス」をテーマに、ベーシックアイテムとシーズントレンドを程よくMIXした「大人カジュアル」を提案するラージサイズSHOPです。

**SUPURE**

「フェミニン&カジュアル」をテーマに、上品さと着心地を大切にラージサイズSHOPです。

# 雑貨事業の概況

General Condition of Miscellaneous Goods Business

雑貨事業におきましては、基幹事業の商品鮮度改善が進んだことから業績も回復基調となりました。

当第2四半期連結累計期間においては、「illusie300(イルーシーサンマルマル)」9店舗、「木糸土(モクシド)・Hare no hi

**シーベレット**



**Siebelet**

「毎日、楽しく」をテーマに、話題性あるファンシー雑貨と生活雑貨を提案します。

**インセンス**



**INCENSE**

「MY BAGを探す楽しさや、見つけた時の喜びを共有できるBAG SHOP」自分のスタイルを確立した大人の男女に、「オンリーワン」のバッグを提案します。

(ハレノヒ)」3店舗、「INCENSE(インセンス)」1店舗を出店しております。中でも300円均一業態の「illusie300」においては、MDの精度向上により顧客からの支持も高まったことから、出店を加速することができました。


**イルーシー300**



**illusie300**

「日常に彩り」をテーマに、300円のプチプライスでライフスタイルを提案します。

**木糸土・ハレノヒ**



**木糸土**

木・糸・土の素材を活かし、「無理なく、無駄なく」をコンセプトに、シンプルで飽きのこない生活雑貨を提案します。

**Hare no hi**

「ナチュラルライフ」をテーマに、アパレル、雑貨をトータルにコーディネート、ライフスタイルを提案します。

**アパレル事業ブランド別の状況** (単位:店舗)

	出店	退店	ブランド転換	当第2四半期末店舗数
レギュラー店舗	5	8	0	264
ギャルフィット・スズタン他	0	7	△2	190
ルディックパーク、9スクエア	5	0	1	23
リルデシュシュ	0	0	0	9
デイジーメリー	0	1	0	3
リシェリエ、ドスチ	0	0	1	39
ラージサイズ店舗	0	1	0	43
<b>アパレル事業合計</b>	<b>5</b>	<b>9</b>	<b>0</b>	<b>307</b>

**雑貨事業ブランド別の状況** (単位:店舗)

	出店	退店	ブランド転換	当第2四半期末店舗数
シーベレット	0	2	0	58
イルーシー300	9	1	0	47
インセンス	1	1	0	31
木糸土・ハレノヒ	3	4	0	13
<b>雑貨事業合計</b>	<b>13</b>	<b>8</b>	<b>0</b>	<b>149</b>
複合店 <sup>(※)</sup>	0	0	0	14
<b>全社合計</b>	<b>18</b>	<b>17</b>	<b>0</b>	<b>470</b>

(※) 複合店とは、アパレル事業、雑貨事業のブランドを複数合わせた店舗です。

# 四半期連結財務諸表

Financial Statements

※注:当社は、前連結会計年度より連結計算書類を作成しております。  
なお、前第2四半期の数値は、ご参考として㈱パレモの数値を記載しております。

## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

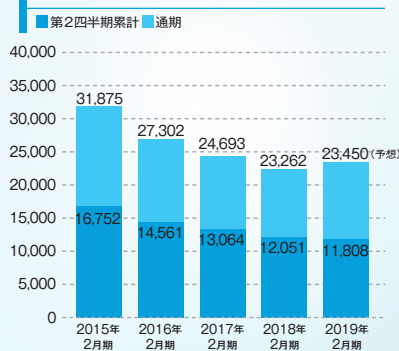
	当第2四半期連結会計期間末 (平成30年8月20日現在)	前第2四半期会計期間末 (平成29年8月20日現在)	前連結会計年度 (平成30年2月20日現在)
<b>■資産の部</b>			
流動資産	5,918	5,100	5,265
固定資産	5,552	5,291	5,116
有形固定資産	990	751	833
無形固定資産	11	9	13
投資その他の資産	4,549	4,530	4,269
<b>資産合計</b>	<b>11,470</b>	<b>10,391</b>	<b>10,381</b>
<b>■負債の部</b>			
流動負債	5,393	5,079	5,303
固定負債	2,555	2,385	2,051
<b>負債合計</b>	<b>7,949</b>	<b>7,464</b>	<b>7,355</b>
<b>■純資産の部</b>			
株主資本	3,516	2,927	3,025
資本金	100	100	100
資本剰余金	1,979	1,979	1,979
利益剰余金	1,440	850	949
自己株式	△3	△2	△2
新株予約権	5	-	-
<b>純資産合計</b>	<b>3,521</b>	<b>2,927</b>	<b>3,025</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>11,470</b>	<b>10,391</b>	<b>10,381</b>

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

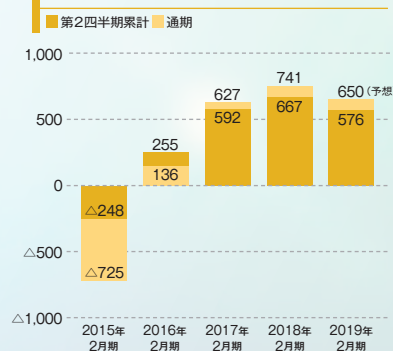
(単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間 〔平成30年2月21日から 平成30年8月20日まで〕	前第2四半期累計期間 〔平成29年2月21日から 平成29年8月20日まで〕
<b>③ 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>206</b>	<b>△301</b>
<b>④ 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△406</b>	<b>△57</b>
<b>⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>379</b>	<b>△850</b>
現金及び現金同等物の増減額	180	△1,209
現金及び現金同等物の期首残高	2,222	2,768
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,402	1,559

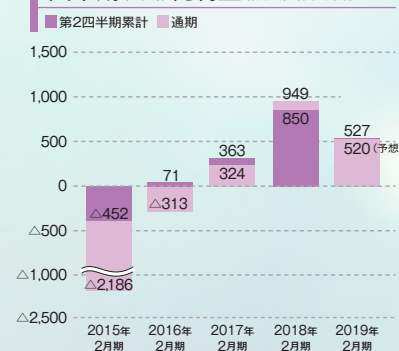
## 売上高 (百万円)



## 営業利益 (損失) (百万円)



## 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益(損失) (百万円)



※注:2018年2月期第2四半期までは、㈱パレモの数値を記載しております

# 企業データ

Corporate Data



## 会社概要 (2018年8月21日現在)

社名 パレモ・ホールディングス株式会社  
 設立 1984年11月22日  
 資本金 1億円  
 本社所在地 〒492-8680  
 愛知県稲沢市天池五反田町1番地  
 従業員数 2,653名(グループ含む)  
 (ナショナル社員156名、エリア社員2,497名)  
 事業内容 事業子会社の経営管理等  
 ホームページ <http://www.palemo.co.jp/>

## 役員 (2018年8月21日現在)

代表取締役社長 吉田 馨  
 専務取締役 永井 隆司  
 取締役 福井 正弘  
 取締役 竹中 幹雄  
 取締役 木根 遡 明  
 取締役 永田 昭夫  
 取締役 赤塚 憲昭  
 常勤監査役 土田 新一郎  
 監査役 平岡 繁  
 監査役 今枝 剛  
 監査役 川口 直也

注:取締役のうち、永田 昭夫、赤塚 憲昭の両氏は社外取締役であります。  
 監査役のうち、今枝 剛、川口 直也の両氏は社外監査役であります。

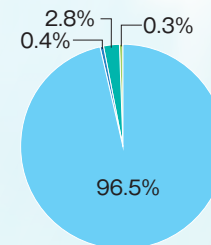
## 株式情報 (2018年8月20日現在)

発行可能株式総数	27,360,000株
発行済株式の総数	12,051,384株
単元株式数	100株
株主数	6,314名

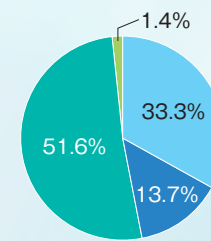
## 大株主 (2018年8月20日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
エンデバー・ユナイテッド・パートナーズ・スリー投資事業組合 エンデバー・ユナイテッド・パートナーズ・ツー株式会社	6,040	50.11
株式会社SBI証券	945	7.84
個人株主A	598	4.96
パレモ従業員持株会	197	1.63
日本証券金融株式会社	182	1.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	165	1.36
株式会社三菱UFJ銀行	130	1.07
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN(CASHPB)	101	0.84
松井証券株式会社	76	0.63
個人株主B	74	0.61

## 株主構成 (2018年8月20日現在)



株主数構成比	株主数	構成比
個人株主その他	6,090名	96.5%
証券会社・金融機関	29名	0.4%
その他国内法人	175名	2.8%
外国法人・個人	20名	0.3%
合計	6,314名	100.0%



株式数構成比	株式数	構成比
個人株主その他	4,015,781株	33.3%
証券会社・金融機関	1,648,942株	13.7%
その他国内法人	6,223,635株	51.6%
外国法人・個人	163,026株	1.4%
合計	12,051,384株	100.0%